

令和7年度（2025年度）科学研究費助成事業採択状況

■研究代表者

(2025年6月1日現在)

No.	研究種目	研究代表者	所属	新規	課題番号	研究期間	分野区分	研究課題名
1	基盤研究（B）	橋本 隆子	商 経		23K21728	2021～2025	ウェブ情報学およびサービス情報学関連	大規模SNS上の話題の構造化による集合行動解析手法
2	基盤研究（C）	師尾 晶子	基盤教育機構		24K04305	2024～2027	ヨーロッパ史およびアメリカ史関連	ペルシア戦争の伝統と「ギリシア人」の創造に関する通時的総合的研究
3	基盤研究（C）	山内 真理	基盤教育機構		24K06213	2024～2026	教育学関連	生成AI活用の教育学修支援：リテラシーレベルに応じた活用可能性の体系化を目指す
4	基盤研究（C）	譲原 晶子	基盤教育機構		24K03451	2024～2028	美学および芸術論関連	社交舞踊の在り方から芸術舞踊史を捉え直す：社会と芸術の接点としての舞踏会
5	基盤研究（C）	伊藤 泰生	商 経		22K01680	2022～2025	経営学関連	大規模自然災害が企業の探索的行動に与える影響—東日本大震災前後における実証分析—
6	基盤研究（C）	越川 靖子	商 経		22K01767	2022～2025	商学関連	五十音象徴の体系化への挑戦
7	基盤研究（C）	土屋 和之	商 経		23K01705	2023～2025	会計学関連	有価証券報告書の「事業の内容」にもとづく業種分類の提案と信頼性の検証
8	基盤研究（C）	仁平 京子	サービス創造		22K01750	2022～2025	商学関連	老舗企業のサービス・リカバリーにおける価値共創と価値共破壊に関する特質分析
9	基盤研究（C）	芳賀 悠基	サービス創造	○	25K05368	2025～2027	商学関連	モバイルアプリ利用時に消費者が知覚する懸念の先行要因と消費者行動への影響
10	基盤研究（C）	藤井 紘司	人間社会	○	25K15679	2025～2028	観光学関連	離島社会の分断と修復をめぐるモビリティ・スタディーズ
11	基盤研究（C）	五反田 克也	国際教養	○	25K04563	2025～2027	考古学関連	利根川水系3湖沼の堆積物分析による歴史時代関東地方の古環境変遷の解明
12	基盤研究（C）	寺嶋 康二	会計ファイナンス		22K01814	2022～2024	会計学関連	経営者の心理的特性が財務報告に及ぼす影響に関する包括的研究
13	若手研究	赤木 茅	基盤教育機構	○	25K21356	2025～2027	ウェブ情報学およびサービス情報学関連	XMLインボイスデータを利用したリアルタイム経済統計サービスの構築
14	若手研究	江草 遼平	基盤教育機構	○	25K17107	2025～2027	科学教育関連	博物館における仮想的な社会的相互作用を支援するアプリケーションの提案
15	若手研究	大風 薫	商 経		22K13602	2022～2026	家政学および生活科学関連	未婚女性のライフコースと金融ケイパビリティ：貧困リスクの低下に向けた実証研究
16	若手研究	大沼 沙樹	商 経		23K12538	2023～2025	経営学関連	チーム間の知識探求を促す認知の分業体系：チーム成果に与える影響と形成要因の解明
17	若手研究	中尾 将人	総合政策	○	25K16632	2025～2027	経済政策関連	通貨統合経済圏における質への逃避抑制政策がもたらす最適通貨圏化に関する分析
18	研究活動スタート支援	吉田 実久	基盤教育機構		24K22738	2024～2025	教育学およびその関連分野	独立研究者の研究動態の解明—研究課題統合検索システムGRANTSを超えて—
19	研究活動スタート支援	河田 美智子	商 経		24K22811	2024～2025	心理学およびその関連分野	仕事における退屈(Boredom at work)の測定と、その予防・低減に有効な方策の提案

新規採択件数 : 6件

継続採択件数 : 13件